

# 流行りのアジャイル、 品質保証部門は何するの？

日科技連 ソフトウェア品質保証部長の会

(株)日立製作所

カケハシ マサト  
梯 雅人

## 発足の背景

- ・頻発するソフトウェア起因の品質事故
- ・ソフトウェア品質保証部門の役割・活動への期待
- ・品質保証 “部門長のは何を？”

→ “部長の会”で議論、成果を発信



発足 : 2009年11月

参加資格 : ソフトウェア品質を担当する部門の部門長

メンバー : 每期 25~30人

企画員・アドバイザー : 大学の先生、業界著名人ほか

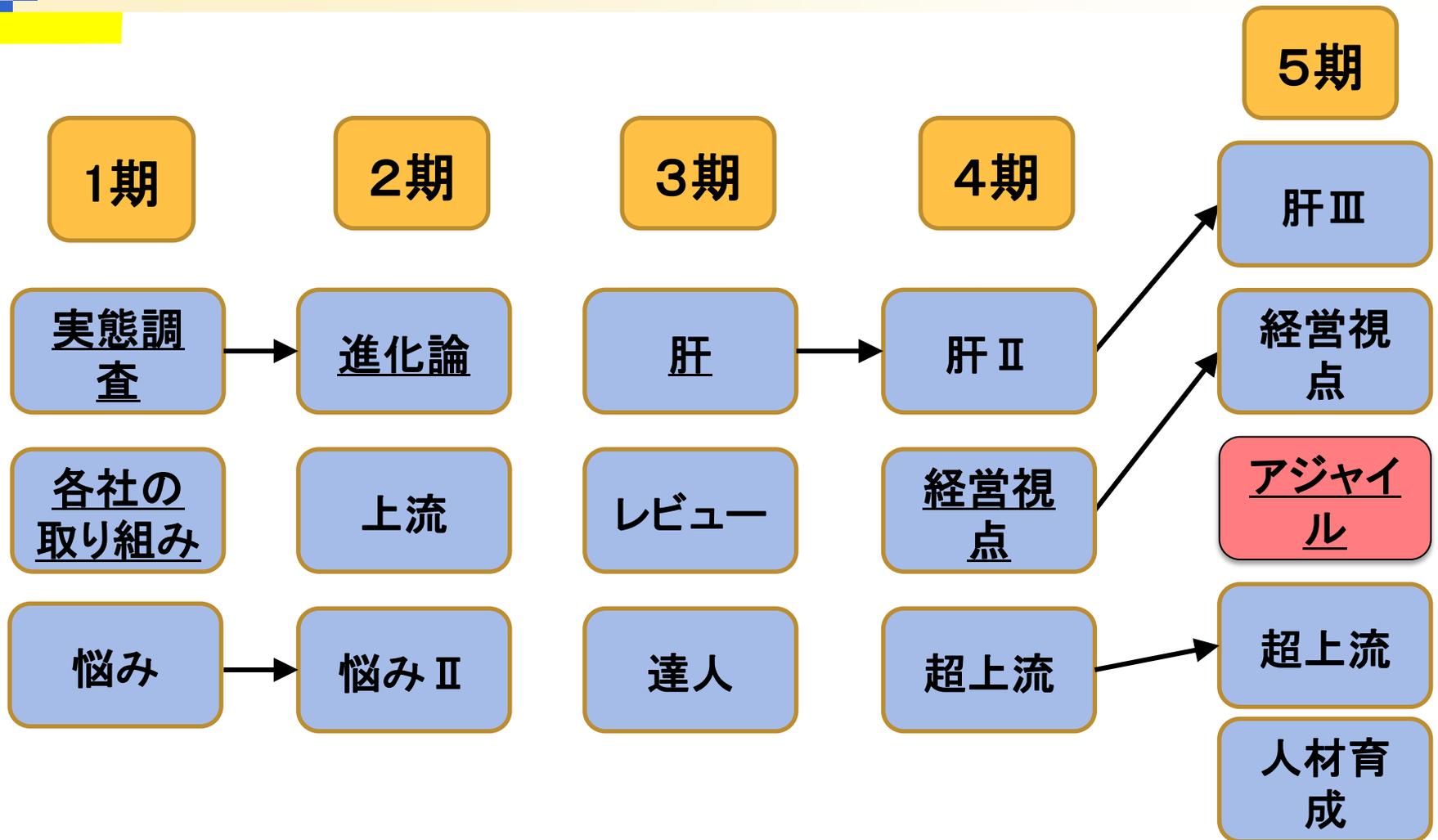
# 風景

講演・事例発表

合宿

テーマ別グループ討論

# これまでの活動テーマ



期：1年サイクルの活動

# 1. まずは、お勉強しました

～アジャイル開発ってどんなもの？～

## 1.1 手順としてのアジャイル

- ・優先順位の高いものから、動くものを早く提供
- ・よりお客様の要求にあったソフトウェアを提供する

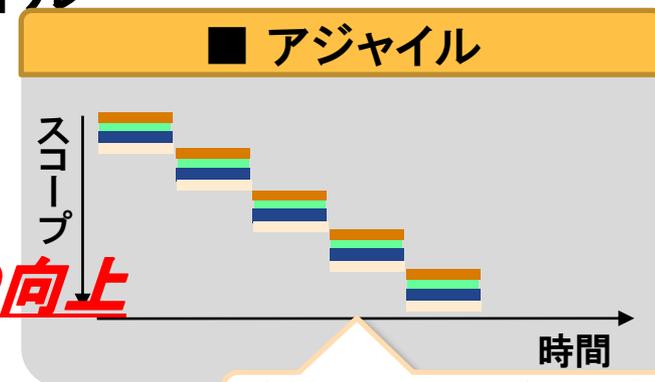
**お客様満足度向上、競合力アップ**



## 1.2 開発スタイル、価値観からみたアジャイル

- ・アジャイルソフトウェア開発宣言
- ・文書化よりコミュニケーション重視、管理は最低限  
“自己組織化” “継続的改善”

**人間らしい開発スタイル、モチベーションの向上**



- ・短いサイクルで並行作業
- ・タイムボックス型

## 1.3 アジャイル プラクティス

### 技術プラクティス

TDD(テスト駆動開発)  
リファクタリング(コード改善)  
CI、ペアプログラミング etc

### ソーシャルプラクティス

朝会、スタンドアップミーティング  
バーンダウンチャート  
ふりかえり、タスクかんばん etc

## 2. 品質保証部門にとってなにが違うの？

### 2.1 プロセスQA視点

- ・品質監査観点
  - プロセス準拠性チェック
  - 標準準拠性チェック
  - ゲート監査
- ・品質管理観点(指標値の管理)
  - レビュー時間、指摘件数
  - 工程別テスト項目数
  - 工程別バグ摘出件数予実績ほか

監査？いつやるの  
反復毎じゃないよね？

標準準拠？  
毎回ふりかえりで  
改善してるけど...

何のレビュー時間？  
いつも会話してるけど...

テスト項目数？バグ件数？  
テストコード流しながら作ってるけど  
どの時点の件数？

### 2.2 成果物評価・テストQA視点

- ・要件の確度、計画リスク評価
- ・設計書類の記述完成度評価(レビュー)
- ・プログラム動作検証

要件ってまだ全部はきま  
てないよ。  
バックログはあるけど...

設計書は最低限しかないよ  
動かしてみてね:p

これまでW/F開発で養った伝統的な品質保証のアプローチを、  
そのままには使えないようだ

### 3. 開発者をもっと気にさせるアジャイル流プロセス監査

“自己組織化されたチームの力を最大限に発揮させる”

これを最大に  
したい！

- 「プロセスがちゃんと行われているか検証する」  
→ 「チームがよりうまく動けるよう働きかける」
- 詳細な標準化が必ずしもベストにならない  
→ 良い方法をチームで考えながら改善  
チーム裁量の範囲が広がりモチベーションアップ

**事例** データで示して、開発者に気付きを与える

- テストインシデントやテストケースもバックログとして管理
- KPI設定 : Velocity(開発速度)、バグ情報(重要度、頻度、残件数)

品質保証部門で測定して見える化



Velocityからみてこのままで終わる？

バックログインフレーションの懸念

- 反復毎の“ふりかえり”で、開発者自ら改善

# 4. ファシリテーターとしてのQA

## QAの働き方



チームに入って、コミュニケーションの基盤を作る  
⇒ **ファシリテーター**としての機能

## 5. QAがテスターとして多能工になる

### 提案

### システムテスト実行と開発・テストの総合支援

#### 0. 製品コードを書く以外は何でもやる意欲とスキルを持つ

#### 1. 品質中心:

品質問題への警鐘をならす！ ユーザー要求・満足によりスピードも考慮すべし

#### 2. ユーザー目線:

自分をユーザーの立場に置く想像力と同時に潜在ユーザーへのインタビューも  
ユーザーにとって価値のある製品は何かを常に考え、POや開発者に伝え同意できるまで議論する

#### 3. 製品品質確認:

自らの確認以外に、品質を担保するのは全員の役目であることをチームに認識させる

#### 4. 継続的ビルドとテストの自動実行:

自動実行される環境を構築(または支援)し、日々のコードの増加・変更量、テスト結果などを**見える化**する

#### 5. ITSとSCM活用 (Issue Tracking System, Source Code Management):

問題発生、コード変更、担当者別などの状況を**見える化**

#### 6. 優れた開発者を表彰:

コード、テスト品質の良い設計者を称賛し、**モチベーションアップ**や**開発品質の底上げ**を促す



## 6. まとめ

### いくつかの事例、提案を紹介した

- ・アジャイル流プロセス監査
  - ・ファシリテーターとしてのQA
  - ・QAも“多能工”になろう
- 
- ・自己組織化、開発者のモチベーションアップが大切  
品質保証部門も同様にモチベーション高く活動したい

### 今後の取組

- ・具体的な活動事例  
組込み系、エンタープライズ系
- ・メトリクス



**日科技連**

**ソフトウェア品質シンポジウム 2015**(9/16-18)

**ソフトウェア品質保証部長の会からの情報発信**

**乞うご期待**

**Thanks!**

